

「遺伝性乳癌卵巣癌に対する、対側乳房予防切除術についての後方視的研究」

ご協力をお願い

今回、当院では、遺伝性乳癌卵巣癌に対し、対側乳房予防切除術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させて頂きたいと考えています。

研究の目的

2020 年 4 月より遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）に対するリスク低減対側乳房切除術（CRRM）、リスク低減卵管卵巣切除術（RRSO）が保険適用となりました。しかし当該手術を施行できる施設は限られており、手術症例数も限られています。

遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対して対側乳房予防切除術を行った症例について検討することで、より多くの治療選択を今後提供できると考え研究を行います。

研究の方法

- ・対象となる患者様について

2020 年 4 月～2024 年 12 月に当院乳癌外科で遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対し対側乳房予防切除術を施行した患者様を対象とします。

- ・研究期間について

倫理審査委員会承認日～2026 年 12 月 31 日とします

- ・方法について

上記対象となる方の診療録より情報収集し、CRRM を行なった症例について、患者背景、手術内容、経過について検討を行います。

- ・研究に用いる試料・情報について

性、年齢、乳癌手術時年齢、BRCA1/2 遺伝子検査結果、BRCA1/2 遺伝子検査理由、疾患関連情報（病理組織学的検査、Stage、治療歴、術式、転移臓器など）、周術期治療、手術関連情報（入院期間、術式、出血量、合併症など）、再建手術の有無、RRSO の有無についてなどです。

- ・資料の管理について

情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究の参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者様に不利益が生じることは一切ありません。この研究計画についてご質問などがある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 京都第一赤十字病院 乳癌外科 糸井 尚子、駒井 桃子
電話 075-561-1121（代）